

## 夏休みには「論語」を学習しよう

開倫塾

塾長 林 明夫

## 1. はじめに

おはようございます。開倫塾塾長の林明夫です。今朝も「開倫塾の時間」をお聴きいただき、ありがとうございます。

子供たちが本当に楽しみにしている夏休みに入りました。夏休みにはどのようなことをしたらよいのかというと、私のお勧めの1つはじっくり古典に親しむことです。せっかくですから、この夏は、古典の中の古典の論語にも親しみ、これから自分の人生を築いていく上での1つの物差しを作っていたいただければと思い、今日は、「論語の学び方」をお話しさせていただきます。

## 2. 夏休みには「論語」を学習しよう

- (1) 論語は、孔子が2000年以上前に考えたこと・言ったこと・行ったことなどを弟子たちがまとめたもので、全部で499章あります。
- (2) 皆さんは、論語の中で好きなところは何ですか。私にとって一番印象的なものは、後ろから2番目にある498章の「不教而殺。謂之虐。(教へずして殺す。之を虐と謂ふ。)」です。具体的にはどのようなことかといいますが、「人々に為すべきことと為すべからざることを教えないで、つまり道德教育もしないで、罪を犯したからといって殺す、すなわち死刑にするのは酷い」という意味です。これはびっくりするような考えですが、私は全くその通りだと思います。
- (3) 子供たちにやってよいことと悪いことを教えるのは、やはり大人です。学校でも、このようなことはしないほうがよい・これはやってもよいということについて、ある程度の目安を教えることが必要です。つまり、人間としてやってよいこと・いけないことを教える道德教育を十分に施して、子供たちを世の中に送り出すことが大人や学校の役割として大事であると思います。
- (4) 昔は、教えることをしないで、何か悪いことをしたからといって死刑にすることが行われていました。今はそのようなことはありませんが、2000年以上も前のことですから、軽微なことでも死刑にすることが行われていたのでしょう。この論語の第498章の孔子の教えは、そのようなことは酷いという教えです。
- (5) この孔子の教えは、今でも正しいと私は考えます。やってよいこと・悪いことがわからない、区別ができない子供たちには、大人や学校がその区別を教えてあげて下さい。
- (6) ただ、先日、犯罪白書を読んでいましたら、恐ろしいことがわかりました。言いにくいことですが、犯罪を犯すのが増えているのは、近年は60歳を過ぎた方だということです。高齢者の方が気楽にものを盗む・人を脅すなどの様々な犯罪を犯して、警察のお世話になったり、裁判にか

けられて有罪の判決を受け刑務所に送られたりするといったことが非常に増えています。そして、社会問題になっています。

- (7) 高齢者だからといって、道徳心が備わっているとは限りません。ですから、子供たちはもちろん、高齢者の方たちもやってよいこと・悪いことをよく考えて、心して行動していただきたいと思います。また、高齢者であってもやってよいこと・悪いことがわからない方が身近にいましたら、このようなことはしないほうがよいと教えてあげていただきたいと思います。
- (8) これが孔子の教えの1つ、「教へずして殺す、之を虐と謂ふ」です。
- (9) それから、私にとって印象深い論語は、第4章の「吾日三省吾身。為人謀而不忠乎。興朋友交而不信乎。伝不習乎。(吾、日に三たび吾が身を省みる。人の為に謀りて忠ならざるか。朋友と交わりて信ならざるか。習わざるを伝<sup>つた</sup>うるか。)」です。特に、最後の「習わざるを伝<sup>はか</sup>うるか」が、私は好きですね。
- (10) 「吾、日に三たび吾が身を省みる」とは、「1日に3回自分のことを振り返って、いろいろなことを反省する」という意味で、これを「三省」と言います。出版者や書店の三省堂は、ここから名前をとったということです。
- (11) 「習わざるを伝うるか」は、「まだ自分の知識として完全に消化されていない事गरを、他人に教え伝えはしなかつたらうか(このことを非常に反省する)」という意味です。人に何かを伝える場合には、具体的に言うと、他人にものごとを教える場合には、自分の知識として完全に消化されていること・自分の身になっていることを、わかりやすい言葉で他人に伝えることが大事であるのに、それをしなかつたのではないかと、孔子は非常に反省するのです。これも素晴らしい考えですね。
- (12) 私はこの章を読むたびに、自分自身があまりにも勉強不足であることを恥ずかしく思っています。もちろん私もですが、皆さんも人にものごとを教えるときは、自分自身でよく消化をしたことを伝えることが大事であると思います。
- (13) 例えば、職場の上司として自分の部下にいろいろなことを教える場合にも、誰かから聞いてきたことをそのまま伝えるのではなく、自分でよく消化をして自分自身のものになったことを伝えることが大事ではないかと思います。
- (14) このように、非常に勉強になるのが孔子の教えです。ですから、ぜひ大人も子供も論語を勉強して、自分自身を振り返ることをお勧めします。
- (15) 話はかわりますが、夏休みですから、勉強や旅行のためにあちこちに出掛ける方もいらっしゃると思います。栃木県には、日光東照宮という素晴らしい文化遺産があります。また、足利市には日本最古の学校であった足利学校があります。当時の足利学校では何を勉強したのかと聞くと、孔子の教えである儒教です。庵主<sup>ようしゅ</sup>と呼ばれる校長先生が、全国からやってきた学僧(学問をする僧)たちに儒教を教えました。孔子のお教えをお坊さんたちに教えるというのも面白い話ですが、一時は3000名もの学僧が集まったとのことでした。
- (16) 今の足利学校では、孔子の教えをまとめた論語が何冊か売られています。その中の一番簡単な本は「論語抄」で、お土産として100円で売られています。今私が紹介させていただいた教えも、「論語抄」に載っています。

(17)ですから、皆様にもぜひ足利学校に行っていただき、足利学校を見学したり、「論語抄」などで論語を読んでいただきたいと思います。そして、人間として何をしたらよいのか・してはいけないのかということ勉強するのも、夏休みの素晴らしい勉強であると思いますので、お勧め致します。

### 3．おわりに

論語をしっかり学習して、ぜひ素晴らしい夏休みをお過ごしいただくようお願い致します。